

【日吉津村第4次行財政改革プラン 令和4年度実施計画兼中間評価】

実施方針Ⅰ：行政改革

実施方針 1 行政改革
 実施項目 ① 効果的組織体制の構築
 実施内容 (ア) 機構改革によるスリムな体制

整理番号 : 1-①-(ア) 010

具体的な内容	社会情勢の変化に対応した体制の検討
--------	-------------------

主 管 課	総務課
-------	-----

※関係ある課の内、主となり取りまとめる課

めざす姿 (実現する内容)	高度化、多様化する行政課題に迅速かつ的確に対応する行政体制づくりをめざします。
------------------	---

目 標	最終目標 (R7年度までの目標)	効果的、効率的で適正な行政体制をめざして機構改革を行います。
	R4年度の目標	社会情勢の変化にあわせた適切な組織体制になっているか検証します。

これまで(R3.10~R4.9月)の成果と課題

成 果	・行財政改革プランを策定したことにより目指す姿や目標が明確になりました。その体制を実現するための機構改革や職員確保への動きが出来ました。
課 題	・限られた職員数ではありますが、役場全体としてバランスのとれた職員配置を決める必要があります。

今後の取組 (概 要)	・各部署毎に現体制の現状分析と課題の聞き取りや洗い出しを行い、次年度に向けて機能的・効果的な職員配置を行います。
----------------	--

工 程 表 (計 画)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	●機構改革・体制の検証				

備考欄	
-----	--

実施方針 1 行政改革
 実施項目 ① 効果的組織体制の構築
 実施内容 (ア) 機構改革によるスリムな体制

整理番号 : 1-①-(ア) 020

具体的な内容	適切な業務分担による外部委託の検討
--------	-------------------

主 管 課 (主となり、とりまとめる課)	総務課
-------------------------	-----

※関係ある課の内、主となり取りまとめる課

めざす姿 (実現する内容)	民間活力を導入し、住民サービスの向上と業務の効率化をめざします。
------------------	----------------------------------

目 標	最終目標 (R7年度までの目標)	外部委託等の取組みを促進し、行政と民間で協働する新しい公共空間の形成を目指します。
	R4年度の目標	他自治体の取組事例の研究と外部委託の現状調査を行います。

これまで(R3.10~R4.9月)の成果と課題

成 果	・海浜エリア活性化検討委員会、プロジェクト会議を開催し、海浜運動公園の指定管理者制度導入について協議しました。 ・令和3年度に南部町、北栄町、島根県出雲市のキャンプ場を視察しました。指定管理の現状を視察及び意見交換を実施し、利用者数の増加や利用者へのサービス向上が図られるという結果が得られました。
課 題	・指定管理者制度導入についての村民への説明が重要です。

今後の取組 (概 要)	・指定管理者制度導入及び海浜運動公園の利活用について市場型サウンディング調査実施し、海浜運動公園の指定管理に興味がある事業者がどの程度あるのか調査します。
----------------	---

工 程 表 (計 画)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
					

備考欄	
-----	--

実施方針 1 行政改革
 実施項目 ① 効果的組織体制の構築
 実施内容 (イ) 将来を見据えた効果的な職員体制の確立

整理番号 : 1-①-(イ) 010

具体的な内容	職員定数管理と適正配置の推進
--------	----------------

主 管 課 (主となり、とりまとめる課)	総務課
-------------------------	-----

※関係ある課の内、主となり取りまとめる課

めざす姿 (実現する内容)	効果的、効率的な適正人員配置をめざします。
------------------	-----------------------

目 標	最終目標 (R7年度までの目標)	持続可能な体制づくりをめざす定数管理計画の策定します。
	R4年度の目標	外部からの視点による職員の業務量調査を実施します。

これまで(R3.10~R4.9月)の成果と課題

成 果	・業務量調査を実施し、各課の状況について把握をしました。
課 題	・行政に対する住民のニーズは年々、多様化・複雑化・高度化してきており、正規職員のみならず会計年度任用職員にも同様に住民サービスの質的向上や、住民目線での丁寧な対応が求められています。 ・会計年度任用職員を含めた適正な人員管理を行う必要があります。

今後の取組 (概 要)	・業務量調査票を元に各課長へのヒアリングを実施し、各課の状況を把握していきます。 ・定年延長制度も踏まえた適正な人員の把握に努めて今後の見通しを作成しつつ、職員の業務量調査等を進め、定員管理計画の策定に着手していきます。
----------------	---

工 程 表 (計 画)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	●業務量調査等	●計画策定	●実行		

備考欄	
-----	--

実施方針 1 行政改革
 実施項目 ① 効果的組織体制の構築
 実施内容 (イ) 将来を見据えた効果的な職員体制の確立

整理番号 : 1-①-(イ) 020

具体的な内容	近隣自治体との連携強化
--------	-------------

主 管 課 (主となり、とりまとめる課)	総務課
-------------------------	-----

※関係ある課の内、主となり取りまとめる課

めざす姿 (実現する内容)	近隣自治体との連携による事務共同化の拡大で事務の効率化をめざします。
------------------	------------------------------------

目 標	最終目標 (R7年度までの目標)	県や市町村と共同事務を拡大し連携を図ることで、更なる事務の効率化、コストカットを推進します。
	R4年度の目標	共同事務の拡充を関係市町村、県と協議します。

これまで(R3.10~R4.9月)の成果と課題

成 果	・電子申請システム、自治体クラウドなど近隣自治体との共同導入とともにシステムの見直しについて検討や取り組みを始めました。
課 題	・業務のスリム化・コスト削減に向けて、本村単独で出来ること、広域化を図ることで可能になることの洗い出しと整理、本村内での共通認識と方向性の検討が必要になります。

今後の取組 (概 要)	・事務の共同化・広域化だけでなく、庁内プロジェクトチームを立ち上げ検討している公共施設の整備・運営体制や自治体DXの取組を更に推進します。
----------------	---

工 程 表 (計 画)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	●検討・協議		●実施		

備考欄	
-----	--

実施方針 1 行政改革
 実施項目 ② ICTなどの技術活用による事務の効率化
 実施内容 (ア) ICTなどの技術導入によるスマート自治体への転換

整理番号 : 1-②-(ア) 010

具体的な内容	会議・打合せの電子化の推進
--------	---------------

主 管 課 (主となり、とりまとめる課)	総合政策課
-------------------------	-------

※関係ある課の内、主となり取りまとめる課

めざす姿 (実現する内容)	会議や打合せを電子化し、ディスプレイやPCを使用し電子データで情報共有することで、コストを削減するとともに、テレワークにおける情報共有や業務に関するデータの整備に取り組みます。
------------------	--

目 標	最終目標 (R7年度までの目標)	電子会議の整備と既存資料の電子化の推進を図ります。
	R4年度の目標	ミライトひえづのLGWAN回線の無線LAN化、電子会議の推進、業務用PCの更新を実施します。

これまで(R3.10~R4.9月)の成果と課題

成 果	・庁舎内のネットワークの再構築を行い、LGWAN回線の無線LAN化を実施しました。 ・コロナ禍によりオンライン会議の開催数、オンラインによる研修参加が増え、移動時間の削減、旅費削減等、業務の効率化につながりました。
課 題	・オンライン会議・研修が増えたことにより、準備している貸出機器が不足する場合があります、機器使用の調整が課題です。 ・オンライン会議でのコミュニケーション方法が課題です。

今後の取組 (概 要)	・庁舎内ネットワーク、業務用端末、インターネット端末の再構築に向け調達します。 ・ヴィレステひえづ(ヴィレステホール)でオンライン研修ができるように、ネットワークを構築します。
----------------	---

工 程 表 (計 画)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	●庁舎内ネットワーク再構築 ●モバイルPCの配備(職員向けインターネットPC更新) ●電子会議の運営方法の検討・環境整備				

備考欄	
-----	--

日吉津村第4次行政改革プラン 令和4年度実施計画兼中間評価

実施方針 1 行政改革
 実施項目 ② ICTなどの技術活用による事務の効率化
 実施内容 (ア) ICTなどの技術導入によるスマート自治体への転換

整理番号 : 1-②-(ア) 020

具体的な内容 村民サービスのスマート化の推進

主管課 (主となり、とりまとめる課) 総合政策課

※関係ある課の内、主となり取りまとめる課

めざす姿 (実現する内容) デジタル技術を活用した行政情報の発信や、窓口手続きのデジタル化及びオンライン申請に向けた環境整備を図り、村民サービスのスマート化を図ります。

目 標	最終目標 (R7年度までの目標)	行政手続きのオンライン化を図り、村民の利便性向上を図ります。
	R4年度の目標	職員によるプロジェクトチームを開催し、行政のデジタル化に向けた本村の課題の洗い出しを行います。令和4年度末までに福祉を中心とした31手続きの電子申請、住民票等のコンビニ交付システムを導入します。

これまで(R3.10~R4.9月)の成果と課題

成 果	・押印の廃止を取り入れ、住民サービス向上につながりました。 ・SNS(ソーシャル・ネットワーク・サービス)の活用により、情報発信ツールの幅が広がりました。 ・SMS(ショートメッセージサービス)を導入し、住民サービス向上につながりました。
課 題	・SNSの活用による更なる情報発信が必要となります。 ・既存システムの利用状況を調査し、費用対効果の検討が必要となります。 ・住民票等のコンビニ交付システム導入に向けた検討が必要となります。

今後の取組 (概 要)

- ・職員によるプロジェクトチームを定期的で開催
- ・LINEの本格活用
- ・住民票等のコンビニ交付システム導入に向けた検討

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
工 程 表 (計 画)	●村民向けスマホ教室の開催(1回/月)				
	●村公式LINEを活用した行政情報の発信				
	●行政手続きのオンライン申請の拡充				
	●窓口手続きのデジタル化の検討				

備考欄

実施方針 1 行政改革
 実施項目 ② ICTなどの技術活用による事務の効率化
 実施内容 (イ) 近隣市町との連携強化

整理番号 : 1-②-(イ) 010

具体的な内容	鳥取県ICT協議会との連携の推進
--------	------------------

主 管 課 (主となり、とりまとめる課)	総合政策課
-------------------------	-------

※関係ある課の内、主となり取りまとめる課

めざす姿 (実現する内容)	クラウド技術を活用した情報システムの共同化によるコスト削減や業務の効率化、情報セキュリティに係る脅威への適切な対策及びICT分野の人材育成など、県内市町村が抱える共通の課題を解決を図ります。
------------------	---

目 標	最終目標 (R7年度までの目標)	県内市町村で連携し、システム運用に係るコスト削減や、職員研修などを行い人材確保を図ります。
	R4年度の目標	情報システム導入の共同化に向け、費用対効果の検討を行います。

これまで(R3.10~R4.9月)の成果と課題

成 果	・第2期電子申請システムの導入について方向性が決定しました。 ・とっとり行政イントラシステムの仕様を作成することを決定しました。 ・被災者支援システムについて、勉強会を行いました。
課 題	・被災者支援システム導入に向け検討が必要となります。

今後の取組 (概 要)	・導入することが決定したシステムの内容を検討します。 ・被災者支援システム導入に向け検討します。
----------------	---

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
工 程 表 (計 画)					

備考欄	
-----	--

実施方針 1 行政改革
 実施項目 ② ICTなどの技術活用による事務の効率化
 実施内容 (ウ) RPAやAIを活用した職員の業務支援

整理番号 : 1-②-(ウ) 010

具体的な内容 RPA・AI－OCR・音声テキスト化による業務自動化の推進

主管課
 (主となり、とりまとめる課) 総合政策課

※関係ある課の内、主となり取りまとめる課

めざす姿
 (実現する内容) AI(人工知能)やRPA(ロボットによる自動化)等のICT(情報通信技術)を利活用して、業務プロセスの自動化や業務自体の質の向上を図ることにより、職員の労働環境を改善するとともにさらなる村民サービスの充実を図ります。

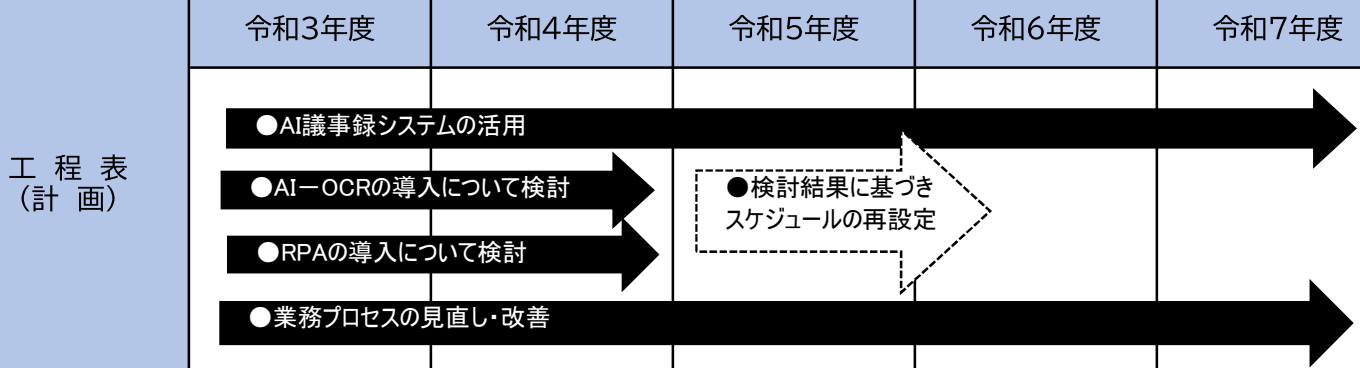
目 標	最終目標 (R7年度までの目標)	AIやRPA等の新技術を役所業務の中に導入することにより、業務の簡略化や電子化の推進を図ります。
	R4年度の目標	職員によるプロジェクトチームを月に1回開催し、行政のデジタル化に向けた本村の課題の洗い出しを行います。

これまで(R3.10～R4.9月)の成果と課題

成 果	- 職員によるプロジェクトチームを定期的を開催し、行政のデジタル化に向けた本村の課題分析を行いました。 【参考】音声テキスト化システム:27.5時間分利用し、前年度より増加しました。
課 題	- 音声テキスト化システムの活用頻度が少ない状況です。 - 音声変換の精度が低く、音声を取り込めない場合があります。 - AI・RPA等導入に向けて費用対効果を十分検討する必要があります。

今後の取組
 (概 要)

- 職員によるプロジェクトチームを定期的を開催して全庁での共通認識を図ります。
- 鳥取県ICT協議会でAI・RPAの活用事例を研究します。
- 音声テキスト化システムの更なる活用を推進します。



備考欄

実施方針 1 行政改革
 実施項目 ② ICTなどの技術活用による事務の効率化
 実施内容 (ウ) RPAやAIを活用した職員の業務支援

整理番号 : 1-②-(ウ) 020

具体的な内容 共有フォルダの管理ルール of 徹底

主管課
 (主となり、とりまとめる課) 総合政策課

※関係ある課の内、主となり取りまとめる課

めざす姿
 (実現する内容) 共有フォルダの整理方法をルール化し徹底することでファイルを探す手間を削減し、業務の効率化を行います。

目標

最終目標
 (R7年度までの目標)

電子ファイルを整理することで業務プロセスの自動化や業務の効率化を図るとともにサーバーの容量の削減をめざします。

R4年度の目標

プロジェクトチームを中心に整理方法のルールを作成し、庁舎内に周知を行います。

これまで(R3.10~R4.9月)の成果と課題

成果

職員によるプロジェクトチームを開催し、共有フォルダの整理及びルール設定の策定方針を確認しました。

課題

・一定の規則に基づきルールを設定しましたが、ルール外の運用を希望するグループもあります。
 ・データを削除するかどうか現状個人の判断となっているため、データの削除についてもルールが必要です。

今後の取組
 (概要)

・プロジェクトチームで検討したルールに基づき、フォルダ及びデータの整理をします。

工程表
 (計画)

令和3年度

令和4年度

令和5年度

令和6年度

令和7年度

●検討

●周知

●ルールに基づくファイル管理

●ルールの見直し・改善

備考欄

実施方針 1 行政改革
 実施項目 ③ 組織全体の人材力向上
 実施内容 (ア) 人材育成

整理番号 : 1-③-(7) 010

具体的な内容	人材育成基本方針
--------	----------

主 管 課 (主となり、とりまとめる課)	総務課
-------------------------	-----

※関係ある課の内、主となり取りまとめる課

めざす姿 (実現する内容)	住民に求められる行政職員を育成するため、人材育成基本方針を改定します。
------------------	-------------------------------------

目 標	最終目標 (R7年度までの目標)	日吉津村人材育成基本方針を改定します。
	R4年度の目標	新たな人材育成基本方針の策定に向けて検討します。

これまで(R3.10~R4.9月)の成果と課題

成 果	・人事評価として全職員が業績目標(目標管理シート)を作成し、管理職との面談を実施しました。 ・令和4年度に人事評価検討委員会及び作業部会を立ち上げ、能力評価及び人事評価の運用について協議しました。
課 題	・階層別の役割、必要な能力を検討し、人材育成方針を定める必要があります。

今後の取組 (概 要)	・人事評価検討委員会及び作業部会での協議を進め、人事評価制度を完成させ、求められる職員像を具体化します。
----------------	--

工 程 表 (計 画)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	●検討	●策定作業	●運用		

備考欄	
-----	--

実施方針 1 行政改革
 実施項目 ③ 組織全体の人材力向上
 実施内容 (ア) 人材育成

整理番号 : 1-③-(ア) 020

具体的な内容	職員研修
--------	------

主管課 (主となり、とりまとめる課)	総務課
-----------------------	-----

※関係ある課の内、主となり取りまとめる課

めざす姿 (実現する内容)	行政職員としての役割を理解し、職員全体の能力向上をめざします。
------------------	---------------------------------

目 標	最終目標 (R7年度までの目標)	日吉津村人材育成基本方針に基づいた計画的な職員研修を実施します。
	R4年度の目標	職員全体の研修への参加、村独自の課題に対し研修を実施します。

これまで(R3.10~R4.9月)の成果と課題

成 果	・接遇研修、総合計画及び人事評価研修、コンプライアンス研修を実施しました。 ・鳥取県職員人材開発センター主催研修へ参加、地方創生人材育成アクションプラン研修を実施しました。 ・オンライン研修、eラーニング等非対面型の研修を実施しました。
課 題	・今年度も新型コロナウイルス感染症により集合型研修の延期、中止が多くなりました。 ・オンライン研修、会議が多くなり、会場やPC等備品が不足することがあります。

今後の取組 (概 要)	・鳥取県職員人材開発センター主催の研修はオンライン研修をメインで実施し、できるだけ多くの職員が受講できるようにします。 ・人権教育研修実施に向けた研修内容を検討し、準備をします。
----------------	--

工 程 表 (計 画)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	●職員研修の実施				

備考欄	
-----	--

実施方針 1 行政改革
 実施項目 ③ 組織全体の人材力向上
 実施内容 (イ) 多様な勤務形態による人材確保

整理番号 : 1-③-(イ) 010

具体的な内容	多角的視点や専門的知識・技術を持つ人材の確保と活用
--------	---------------------------

主 管 課 (主となり、とりまとめる課)	総務課
-------------------------	-----

※関係ある課の内、主となり取りまとめる課

めざす姿 (実現する内容)	多角的視点や専門的知識・技術を持つ人材を活用し、多様化する地域課題や住民ニーズに応える組織体制づくりをめざします。
------------------	---

目 標	最終目標 (R7年度までの目標)	再任用職員や外部人材、更には会計年度任用職員を効果的・効率的に活用し雇用創出を図り多様な人材確保に努めます。
	R4年度の目標	多様な人材の活用を検討します。

これまで(R3.10~R4.9月)の成果と課題

成 果	・豊富な知識、行政経験を持つ退職者を、再任用制度で後進の指導、助言を担ってもらうよう努めました。 ・専門職(保育士)の職員採用試験に参加し、専門的分野の知識をもつ人材確保に努めています。
課 題	・優秀な人材を確保しつつ、その技術、知識の継承を限られた期間内で行わなければなりません。 ・今後益々多様化、複雑化する行政事務や住民ニーズに応える体制づくりが必要となっています。

今後の取組 (概 要)	・令和5年度に始まる定年引上げ制度に向け、段階的に定年を引上げる条例改正を令和4年12月定例議会において提案するべく準備を行います。
----------------	--

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
工 程 表 (計 画)		●外部人材登用の検討			
		●定年引上げの内容検討	●実施		

備考欄	
-----	--

実施方針 1 行政改革
 実施項目 ③ 組織全体の人材力向上
 実施内容 (ウ) 人事評価制度の適正な運用

整理番号 : 1-③-(ウ) 010

具体的な内容	人事評価制度の適正な運用
--------	--------------

主 管 課 (主となり、とりまとめる課)	総務課
-------------------------	-----

※関係ある課の内、主となり取りまとめる課

めざす姿 (実現する内容)	職員の能力や実績を把握し、能力開発及び意欲向上につなげ職員を育成するため人事評価制度を実施します。
------------------	---

目 標	最終目標 (R7年度までの目標)	人事評価制度の運用をめざします。
	R4年度の目標	能力評価・人事評価運用の検討、業績目標(目標管理シート)の実施に取り組めます。

これまで(R3.10~R4.9月)の成果と課題

成 果	- 全職員が業績目標(目標管理シート)を作成し、管理職との面談を実施しました。 - 令和4年度に人事評価検討委員会及び作業部会を立ち上げ、能力評価及び人事評価の運用について協議しました。
課 題	能力評価シートの作成、評価の反映まで至っていません。

今後の取組 (概 要)	人事評価検討委員会及び作業部会での協議を進め、人事評価制度を完成させ、能力評価の実施及び運用を開始します。
----------------	---

工 程 表 (計 画)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	●検討	●策定作業	●運用		

備考欄	
-----	--

実施方針 1 行政改革
 実施項目 ③ 組織全体の人材力向上
 実施内容 (工) 組織目標の明確化と共有化

整理番号 : 1-③-(工) 010

具体的な内容	組織目標事業
--------	--------

主 管 課 (主となり、とりまとめる課)	総務課
-------------------------	-----

※関係ある課の内、主となり取りまとめる課

めざす姿 (実現する内容)	各課職員が組織としての目標を立て全体で共有し、進捗状況を確認しあう体制をめざします。
------------------	--

目 標	最終目標 (R7年度までの目標)	組織目標を全体で共有することをめざします。
	R4年度の目標	組織目標会議の開催(年4回)し、総合計画主要事業との一体的な進捗を図ります。

これまで(R3.10~R4.9月)の成果と課題

成 果	・4月と7月に組織目標会議を開催し、全体で令和4年度の組織目標を共有し、進捗状況を確認しました。
課 題	・今年度組織目標シートを修正し、シート作成時に説明不足でうまくいかないところもありました。会議時間の都合上、駆け足での報告になり、意見交換に十分な時間を取れないことがあります。

今後の取組 (概 要)	・10月、1月、3月に開催し、目標の進捗状況、結果を組織全体で共有します。
----------------	---------------------------------------

工 程 表 (計 画)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	●組織目標会議の開催				

備考欄	
-----	--

日吉津村第4次行政改革プラン 令和4年度実施計画兼中間評価

実施方針 1 行政改革
 実施項目 ③ 組織全体の人材力向上
 実施内容 (オ) 生産性を高める働き方と業務の進め方への転換

整理番号 : 1-③-(オ) 010

具体的な内容	自治体DXの推進
--------	----------

主 管 課 (主となり、とりまとめる課)	総務課
-------------------------	-----

※関係ある課の内、主となり取りまとめる課

めざす姿 (実現する内容)	自治体DXを推進し、より少ない職員で効率的に事務を処理する体制をめざします。
------------------	--

目 標	最終目標 (R7年度までの目標)	AIやRPA等の活用、業務のデジタル化を進めることで、必要な人的資源を補い、住民サービスの充実や行政課題への的確な対応をめざします。
	R4年度の目標	日吉津村自治体DX推進プロジェクト(構成:各課代表職員)による検討を行います。

これまで(R3.10~R4.9月)の成果と課題

成 果	・自治体DXPT会議で押印廃止について検討し、令和4年1月1日から実施をしました。
課 題	・押印、署名を残す手続きについて各課で検討をお願いしたが、課によって取り掛かりに差が出ることになり、実施期間を当初の予定より遅らせることになりました。

今後の取組 (概 要)	・押印廃止による住民の負担軽減や職員の事務量の軽減の効果を検証するとともに、住民、職員に対し押印廃止の実施を周知します。
----------------	--

工 程 表 (計 画)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	●検討・協議	●実施			

備考欄	
-----	--

実施方針 1 行政改革
 実施項目 ③ 組織全体の人材力向上
 実施内容 (オ) 生産性を高める働き方と業務の進め方への転換

整理番号 : 1-③-(オ) 020

具体的な内容	時間外勤務の抑制に向けた取組
--------	----------------

主 管 課 (主となり、とりまとめる課)	総務課
-------------------------	-----

※関係ある課の内、主となり取りまとめる課

めざす姿 (実現する内容)	働き方改革を推進し、労務管理を行うことで時間外勤務を抑制し、業務の効率化を図ります。
------------------	--

目 標	最終目標 (R7年度までの目標)	勤務実態を把握し適切な労務管理を行うことで時間外勤務を縮減し、業務時間内の効率的な業務推進を図ります。
	R4年度の目標	職員の勤務実態の把握に取り組みます。

これまで(R3.10~R4.9月)の成果と課題

成 果	・時間外勤務命令の状況を毎月確認し、時間外勤務実績の多い職員のいる部署に対しては業務内容のヒアリングを行い、指導や助言を行っています。 ・管理職員が時間外勤務を把握できるように、遡って時間外勤務命令を申請していたものを短期間(2, 3日のうち)に申請するように、課長会で是正を行いました。
課 題	・少ない職員数であるがゆえに、指導や助言を行っても経常的な業務による時間外勤務命令が多くなる傾向にあります。 ・会計年度任用職員も時間外勤務手当が支給されることとなったため、本来時間外勤務をすべきでない会計年度任用職員にも、時間外勤務が多く命令される傾向があります。 ・新規事業や繁忙期など特定の理由により時間外勤務が集中的に行われる傾向にあります。

今後の取組 (概 要)	・引き続き勤務時間の実態を把握し、指導や助言を行い、時間外勤務の適正化を図ります。 ・職員の効果的な運用のため、繁忙期には縦割りではなく、部署を横断した応援体制などを検討します。
----------------	--

工 程 表 (計 画)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	●勤務時間の実態把握、時間外多い所属へのヒアリングおよび指導・助言 				

備考欄	
-----	--

【日吉津村第4次行財政改革プラン 令和4年度実施計画兼中間評価】

実施方針2：財政改革

実施方針 2 財政改革
 実施項目 ① 事務事業等の見直し
 実施内容 (ア) 事務事業の見直し

整理番号 : 2-①-(ア) 010

具体的な内容	事務事業の見直し
--------	----------

主 管 課 (主となり、とりまとめる課)	総合政策課
-------------------------	-------

※関係ある課の内、主となり取りまとめる課

めざす姿 (実現する内容)	職員自ら事業の目標、成果、課題について認識できる事務事業評価などの行政評価を定着させ、評価結果に基づく事務事業に向けて見直しを図ります。
------------------	--

目 標	最終目標 (R7年度までの目標)	職員自ら事業の目標、成果、課題について認識できる事務事業評価を定着させ、評価結果に基づく見直しを図ります。
	R4年度の目標	職員一人ひとりが増大する行政課題に迅速かつ的確に対応することを可能とするための、それぞれの事業について総合計画との整合性を図り、成果優先度評価による事務事業の見直しを行います。

これまで(R3.10~R4.9月)の成果と課題

成 果	・全職員を対象とした総合計画研修や総合計画基本事業の振り返り、総合計画実施計画の策定・評価の作業を通して、その事業の目的や目標、今後に向けて取り組む内容を改めて確認しました。
課 題	・各事業について、村総合計画との整合性や目標達成状況に着目して取り組んでいますが、一部の業務では取り組めていない状況があります。 ・事業の目標、成果、課題に基づいた事務事業の評価を実施し、事務事業の方向性を検討する余地があります。

今後の取組 (概 要)	・事業の目標、成果、課題に基づいた事務事業の評価を実施し、事業の方向性を検討します。
----------------	--

工 程 表 (計 画)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	<各課> ・各事業の現状把握 ・事業実施、進捗管理				
	<総合政策課> ・方向性の検討、策定				

備考欄	
-----	--

実施方針 2 財政改革
 実施項目 ① 事務事業等の見直し
 実施内容 (イ) 補助事業の見直し

整理番号 : 2-①-(イ) 010

具体的な内容	補助事業の見直し
--------	----------

主 管 課 (主となり、とりまとめる課)	総合政策課
-------------------------	-------

※関係ある課の内、主となり取りまとめる課

めざす姿 (実現する内容)	補助金の目的及び補助金が活用されたことによる効果などを整理し、限られた財源を有効に活用します。
------------------	---

目 標	最終目標 (R7年度までの目標)	限られた経営資源(財源など)を有効に活用するため、目的やその補助金が活用されたことによる効果を整理し、公益性の確保に努めます。
	R4年度の目標	補助金が活用されたことによる成果を検証します。

これまで(R3.10~R4.9月)の成果と課題

成 果	・日吉津村補助金審査会を书面開催し、組織運営補助金が有効に活用されていることを確認しました。
課 題	・R5年度から新たな基準で補助金を精査し、R6年度予算に反映することとしていますが準備が不十分です。

今後の取組 (概 要)	・限られた財源を適正かつ透明性を図った方法で整理する方向づけをするため、推進本部(行政)の協議の他、村民代表で構成される各種審議会からの意見も踏まえ、新たな審査方法を検討します。
----------------	---

工 程 表 (計 画)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	●新たな補助金 審査方法の検討 ●新たな審 査方法の決 定 ●新たな方法 に基づく審査 ●令和6年度から予算へ反映				

備考欄	
-----	--

実施方針 2 財政改革
 実施項目 ② 公共施設等の適正管理
 実施内容 (ア) 指定管理者制度導入による新たな管理方法の検討

整理番号 : 2-②-(ア) 010

具体的な内容	指定管理者制度導入施設の検討
--------	----------------

主 管 課 (主となり、とりまとめる課)	総務課
-------------------------	-----

※関係ある課の内、主となり取りまとめる課

めざす姿 (実現する内容)	民間事業者のノウハウを活用し、サービス向上が図られる施設への指定管理者制度導入を検討します。
------------------	--

目 標	最終目標 (R7年度までの目標)	指定管理者制度を導入します。
	R4年度の目標	指定管理者制度を導入できる施設の検討を行います。

これまで(R3.10~R4.9月)の成果と課題

成 果	・海浜運動公園の指定管理者制度の導入に向けて検討しています。 ・令和3年度に南部町、北栄町、島根県出雲市のキャンプ場を視察し、指定管理の現状を視察、意見交換を実施しています。
課 題	・指定管理者制度導入についての村民への説明が重要だと認識しています。

今後の取組 (概 要)	・海浜エリア活性化検討委員会及び海浜エリア活性化プロジェクトで指定管理者制度導入の有無も含め検討を行います。 ・指定管理者制度導入に向けて市場型サウンディング調査実施し、海浜運動公園の指定管理に興味がある事業者がどの程度あるのか調査する予定です。
----------------	--

工 程 表 (計 画)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度

備考欄	
-----	--

実施方針	2	財政改革
実施項目	②	公共施設等(公共施設及び道路、橋梁、下水道等のインフラ施設)の適正管理
実施内容	(イ)	公共施設等(公共施設及び道路、橋梁、下水道等のインフラ施設)の総合管理計画、個別施設計画の推進

整理番号： 2-②-(イ) 010

具体的な内容	公共施設等(公共施設及び道路、橋梁、下水道など)の総合管理計画、個別施設計画の推進
--------	---

主管課 (主となり、とりまとめる課)	総務課
-----------------------	-----

※関係ある課の内、主となり取りまとめる課

めざす姿 (実現する内容)	公共施設等総合管理計画及び個別施設計画に基づき、公共施設及びインフラ施設(道路、橋梁、下水道等)の維持管理、更新等のコストの適正管理及び施設配置の適正化を図ります。
------------------	--

目標	最終目標 (R7年度までの目標)	公共施設等総合管理計画及び個別施設計画に基づき公共施設及びインフラ施設の適正な管理、及び予防保全対応を積極的且つ計画的に行い、コストの削減、平準化を図ります。
	R4年度の目標	既に策定された長寿命化計画については随時見直しを行い、必要な点検、修繕を行い、その結果をコストの削減、平準化に活かします。

これまで(R3.10~R4.9月)の成果と課題

成 果	・令和3年度末時点で、公共施設等総合管理計画を見直しし、第2次計画を策定しました。 ・新しい公共施設等総合管理計画をもとに、複合型子育て拠点施設のための地方債を借りることができました。
課 題	・公共施設等総合管理計画については、総務省求めた実用的な計画となるよう見直しを行いました。が、今後は、脱炭素に向けた内容の反映など公共施設等総合管理計画の一部改正等が必要となる可能性があります。

今後の取組 (概 要)	・令和3年度に策定した公共施設等総合管理計画をもとに、公共施設の維持管理等、適正に管理します。 ・計画に基づく維持管理、修繕計画等に反映し、コスト削減や平準化に役立てます。
----------------	---

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
工 程 表 (計 画)					
					
	○公共施設等総合管理計画の見直し				

備考欄	
-----	--

実施方針 2 財政改革
 実施項目 ③ 受益者負担の適正化
 実施内容 (ア) 受益者負担の適正化

整理番号 : 2-③-(ア) 010

具体的な内容	受益者負担の適正化
--------	-----------

主 管 課 (主となり、とりまとめる課)	総合政策課
-------------------------	-------

※関係ある課の内、主となり取りまとめる課

めざす姿 (実現する内容)	適正な歳入と受益者負担の公平性を確保するため、施設ごとの使用料や手数料の減免措置の取扱いについて、適用基準の見直しを検討します。
------------------	--

目 標	最終目標 (R7年度までの目標)	限られた経営資源を有効に活用するため、施設ごとの使用料、手数料、減免措置の取扱いについて適用基準の見直しを検討します。
	R4年度の目標	運営にかかるコスト面などの調査を行うとともに、費用対効果を検証するための準備、施設ごとの減免措置の取扱(目的、対象など)の整理を行います。

これまで(R3.10~R4.9月)の成果と課題

成 果	・過去の調査内容を整理しました。
課 題	・各施設の目的及び各施設の個別計画に基づく点検結果管理費、維持修繕費等の調査が不十分です。

今後の取組 (概 要)	・各施設の個別計画に基づく今後の管理費、維持修繕費等についての調査を行います。
----------------	---

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
工 程 表 (計 画)	〈各課〉 ・各施設の調査研究(コスト削減案、今後の管理や修繕にかかる費用の見込み)			〈各課〉 ・方向性の検討、実施 ・ふりかえり(課題)の抽出結果に基づく改善	
			〈総合政策課〉 ・方向性の検討、策定		

備考欄	
-----	--

実施方針 2 財政改革
 実施項目 ④ 歳入の確保
 実施内容 (ア) 徴収体制の強化

整理番号 : 2-④-(ア) 010

具体的な内容	徴収体制の強化
--------	---------

主管課	住民課
-----	-----

関係課	福祉保健課、建設産業課
-----	-------------

※関係ある課の内、主となり取りまとめる課

めざす姿 (実現する内容)	村税、保育料、下水道使用料等の徴収に係わる部署のみならず、全庁的に徴収や納付方法の検討を行い徴収体制の強化を図ります。
------------------	---

目標	最終目標 (R7年度までの目標)	滞納者の情報を把握し、費用対効果を加味しながら効果的な徴収体制を確立し、滞納額を抑制します。
	R4年度の目標	全庁的な徴収体制の組織化を図り、主に過年度滞納額の強化と新たな徴収方法の検討に取り組みます。

これまで(R3.10~R4.9月)の成果と課題

成 果	・滞納者に催告書等を通知することにより、自主納付につなげることができました。 ・コンビニ納付やスマホ納付を開始したことで、時間外の納付や県外者の納付が容易になりました。
課 題	・自主納付に導くため、新たな納付方法の導入などの検証がまだ十分ではありません。 ・滞納者は村税や保険料など複数種類の税金の滞納がある場合が多く、継続的な世帯の現状把握が不十分な状況があります。

今後の取組 (概 要)	・納税者の納税機会を確保するため費用対効果も考慮しながら新たな納付方法について検討し、納税者の納税意識を高めます。 ・徴収スタッフネット会議を再編し全庁的な取組(情報交換・徴収など)を行うことで、滞納者への接触、状況の把握、交渉を継続的に行うことで滞納額の縮小を図ります。 ・職員を対象に、徴収技術の研鑽のための研修を行います。
----------------	--

工 程 表 (計 画)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	現状把握と課題整理	徴収体制の組織化・研修	取組状況検証		
	●各部署での徴収				

備考欄	
-----	--

実施方針 2 財政改革
 実施項目 ④ 歳入の確保
 実施内容 (イ) 事業実施のための財源の検討

整理番号 : 2-④-(イ) 010

具体的な内容	事業実施のための財源の検討
--------	---------------

主管課 (主となり、とりまとめる課)	総務課
-----------------------	-----

※関係ある課の内、主となり取りまとめる課

めざす姿 (実現する内容)	将来的な人口減少に伴う歳入減少が生じたとしても、積極的に事業実施するために、国、県などの補助金、交付金、民間補助金を活用するなどし、財源確保に努めます。
------------------	--

目標	最終目標 (R7年度までの目標)	たとえ税收等の減収があったとしても積極的に事業実施するために各課が連携し財源確保に取り組めます。
	R4年度の目標	各課で計画する事業の実施に向け、補助金等(国・県、民間補助団体)の検討を行い、可能な内容の調査研究を行います。

これまで(R3.10~R4.9月)の成果と課題

成 果	・新型コロナ経済対策・感染症対策を行うにあたり、国や県などの補助金について情報収集を行い、事業の実施をしました。 ・村財政全体のシミュレーション(起債新規発行含む)を行い、後年度の負担を検証しました。 ・新たな財源として、企業版ふるさと納税の募集を開始し、寄附をいただくことができました。 ・予算編成段階の査定により適正な歳出予算とすることで、財源確保につながりました。
課 題	・国や県、民間団体などが実施する補助金や交付金の情報を連携収集し、活用する姿勢がより一層必要とされます。 ・事業実施のための各種収入(使用料、負担金、諸収入など)の額が適正であるかの検証や新たな財源の確保の検討が必要となっています。

今後の取組 (概 要)	・当初予算の予算編成に向けて、事業内容と各種収入などの財源の確認を行います。 ・各課で事業を行うにあたり、国や県などの補助内容を調査研究し、活用できる補助金等は積極的に活用を検討していきます。
----------------	---

工 程 表 (計 画)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	〈各課〉 ・利用できる制度(補助金など)の情報収集と実践				
	〈財政担当課〉 ・利用できる制度(補助金など)の情報収集と周知 ・担当課との協議				

備考欄	
-----	--